



大田原高校の生徒による 気候変動研究

スタート!

栃木県気候変動適応センターでは、環境省から受託している事業の一環として、将来を担う高校生や地域で活動するユース団体と連携し、気候変動に関する情報収集等を行っています。

現在、大田原高校の生徒が、若者の視点から考える気候変動の影響や適応について主体的に研究を進めています。

月
日
日直



大田原高校 1 年生の希望者 23 名が、6 グループに分かれ、来年2月までの間、気候変動に関する課題研究プロジェクトに取り組んでいます。研究テーマは、身近に感じる気候変動の影響についての問題意識や興味関心に沿って、高校生自らが決めていきます。

この中で県とユース団体（とちぎユースサポーターズネットワーク）は、研究を進めるための科学的知見や調査手法の参考情報を提供するなどにより、活動を支援しています。



熱心に、意見を
出し合っている
まる♪♪



～ 研究テーマ候補 ～

- * 室内と屋外の熱中症になりやすい湿度と温度の違い
- * 気候変動が旬の物（食生活）に及ぼす影響
- * 人間の開発と二酸化炭素の排出削減は両立できるのか？
- * 再生可能エネルギーで学校に安定した電気供給を！
- * 温暖化に対する意識啓発と家庭用バイオリアクターの開発

研究を通して気候変動を身近に考え、さらなる活動に発展することも期待しています。



乞う！ご期待

シンポジウムで発表予定！！

令和3 (2021) 年 2 月に、県が開催するシンポジウムにおいて、取組状況の発表を行う予定です！

